

## 5) 外部空間施設整備・運営方針

### ①基本方針

水郷筑波国立公園に指定されている利根川の広大で雄大なパノラマ景観や眺望景観の保全・活用と、利根川改修と地域との関わりの歴史性の保全・復元を基本とし、佐原広域交流拠点全体の空間の連続性が図れるよう、以下の基本方針により施設配置、施設整備を行う。

1. 広大な水辺景観や特徴ある自然景観の保全・活用
2. 利根川の治水事業に寄与した佐原ドックの保全・活用
3. 眺望景観の保全及び河川空間との一体感の創出
4. 利根川下流域中流部の水防活動拠点の整備

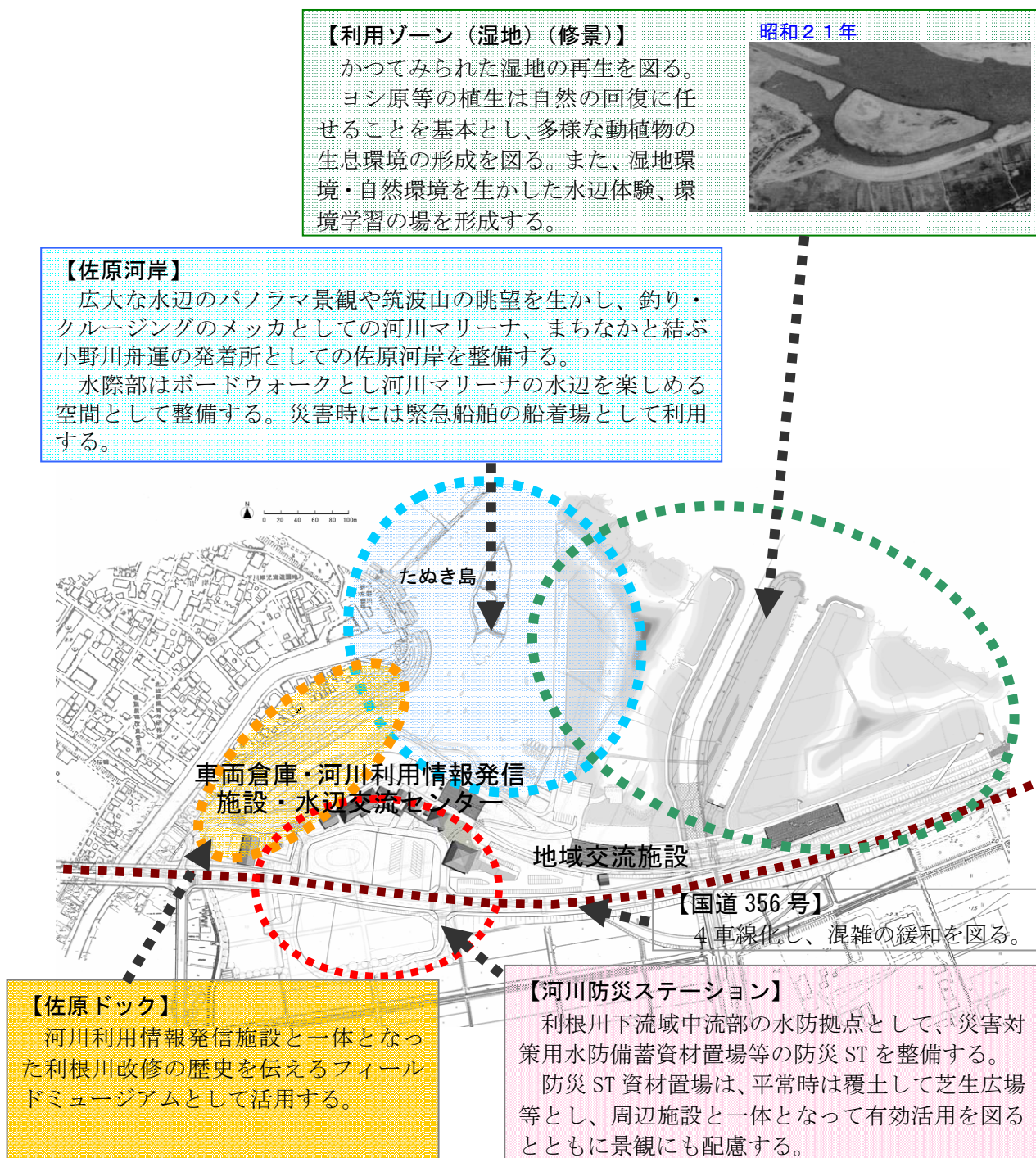


図-20 外部空間整備方針図

## ②佐原河岸整備計画

### <主な整備内容>

- ・舟運発着所：現在小野川を中心に運行している 20 フィート程度のボート 2 隻程度が係留できる浮棧橋。
- ・係留棧橋：つり船等プレジャーボートが利用する浮棧橋（20 隻分程度とし、将来需要にあわせて拡張）
- ・船舶昇降スロープ：つり船等プレジャーボート等が 2 台同時に昇降可能なスロープを設置する。
- ・駐車場(ボートヤード)：陸上保管場所等から牽引する車両や台車の駐車場（約 30 台分程度）。
- ・水辺広場：既存の階段護岸の広場部分はイベント等に活用できるよう広場として整備。
- ・ボードウォーク：水際の散策を楽しむ木製ボードウォーク（幅員 2m 程度）。
- ・転落防止柵：水際に転落防止柵を整備（階段護岸やスロープ部を除く）。
- ・環境護岸：佐原河岸の護岸整備。

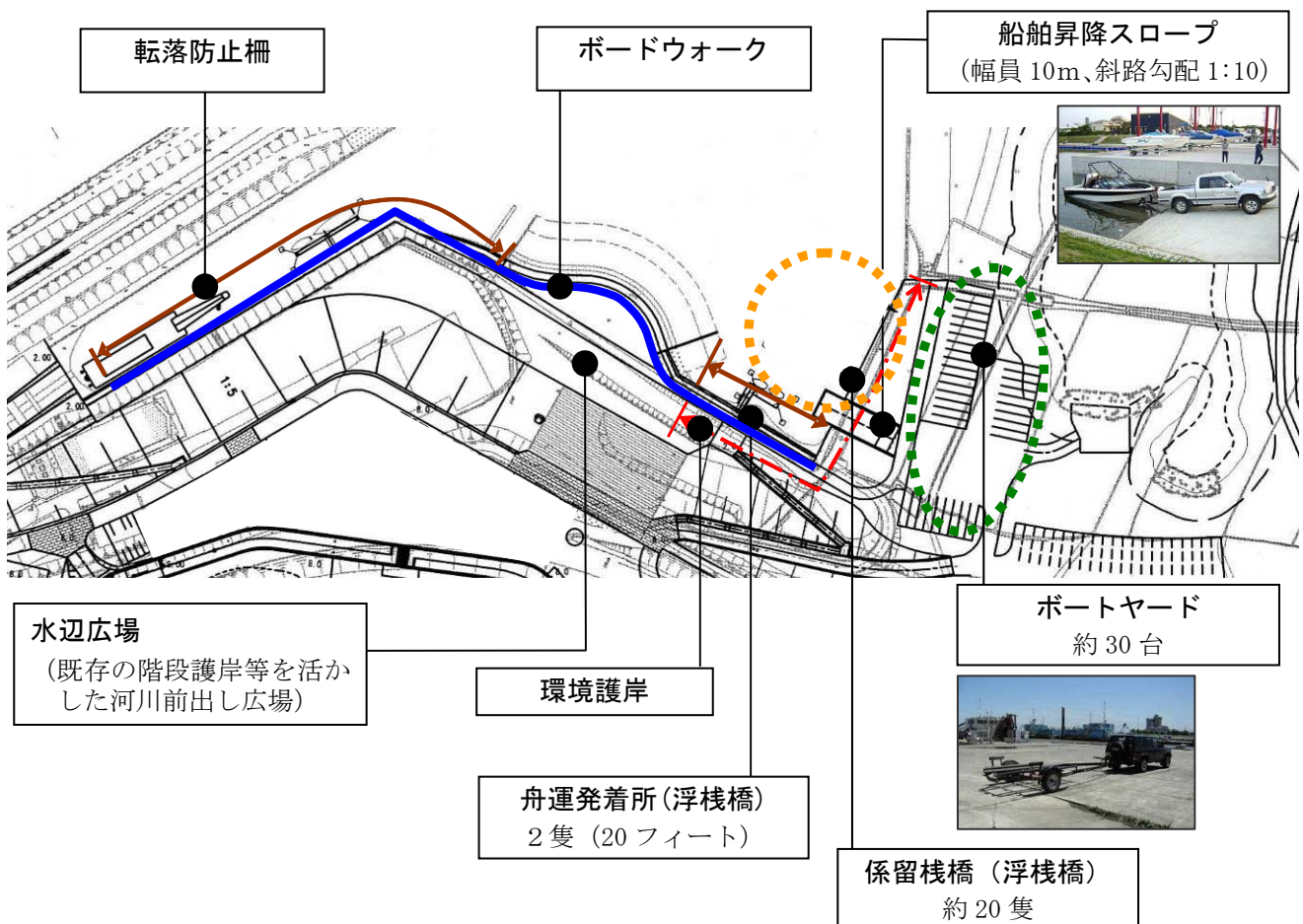


図-21 佐原河岸備計画図

### ③佐原ドック・建設機械展示整備計画

#### <主な整備内容>

- ・ **佐原ドック** : 利根川河川改修で活躍していた頃のドックスロープ (昇降用スロープ) を復元し、平常時には河川利用情報発信施設、建設機械・浚渫船の展示、さらには対岸の横利根閘門までを含んだエリアを利根川河川改修の歴史を伝えるフィールドミュージアムとして活用する。
- ・ **建設機械展示場** : 河川改修に活躍した建設機械(現在は屋外展示されている)を、佐原ドックや車両倉庫・河川利用情報発信施設・水辺交流センター周辺に、建設機械の用途に応じたストーリーを構成するよう分散配置展示する。
- ・ **建設機械倉庫** : 河川利用情報発信施設と連続する位置に移築し、建設機械の展示場として活用する。
- ・ **浚渫船展示** : 利根川改修で活躍した浚渫船 (1 隻) を佐原ドック内に水上展示する。

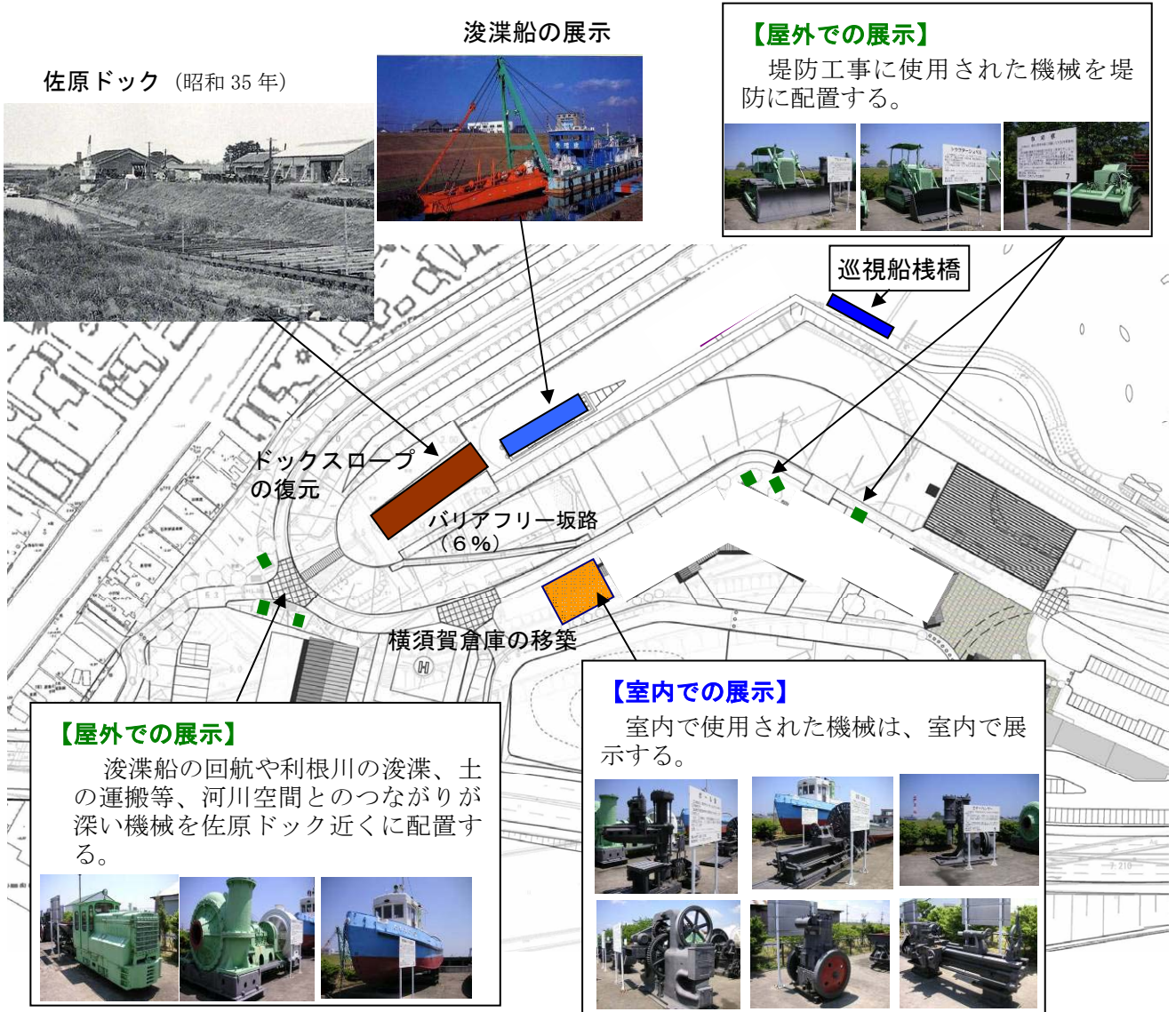


図-22 佐原ドック・建設機械展示計画図